

街頭募金活動に参加して

今年も街頭募金活動を行いました。

場 所：高松丸亀町壺番街前ドーム広場

◎ 1回目 1月7日(日)

◎ 2回目 2月18日(日)

◎ 3回目 3月9日(土)

たくさんのご寄付を頂きありがとうございました。



手話サークルに参加して

香川県立保健医療大学看護学科2年生

私たち香川県立保健医療大学の学生は、今まで手話に関心はあるものの関わる機会がなく、さらスポーツクラブの手話サークルで初めて手話に触れることができました。手話サークルでは聾者の方の生活を想像したり心情を体験したりすることができ、少しずつ指文字や手話を覚えていけることに楽しさを感じました。それと同時に、私たちは完璧に指文字や手話ができるわけではないため、言葉を使わずに自分の思いを相手に伝えることの難しさを実感しました。しかし、コミュニケーションが困難でも諦めることなく、ジェスチャーや身振り手振りで伝えるなど、自分の気持ちを伝える努力をすることが大切だと学びました。そして相手の気持ちを理解する努力もすることでコミュニケーションを成立させることができると分かりました。この経験や学びは、これからの生活・看護師になった際に多くの機会を活かせると考えています。実際に一人の学生は、アルバイトで聾者の方と関わる機会があった際に、指文字やジェスチャーでコミュニケーションをとることが出来ました。このことから私たちは手話サークルでの活動の意義を大きく感じています。1年間私たち学生を快く受け入れてくださりありがとうございました。私たちは手話のサークルに参加でき、楽しみながら多くの学びを得られて本当に良かったです。来年からは活動に参加することはできませんが、手話への関心は深めていき、さらスポーツクラブの益々のご活躍を願っています。



山下 陽彩乃

手話サークルに参加し、いろんな人とお話がしたい、と手話サークルに行くようになって1年以上になりました。小学生はわたしだけけど周りのみんながやさしく教えてくれるのでいつも楽しいです。自己紹介も少し手話でできるようになりました。これからも続けて参加して、いろんな人と話ができるようになりたいです。

リフレッシュ教室に参加して

大橋 秀太

リフレッシュ教室では「歌う顔ヨガ」とか、座ったまま出来る体操とか、Wiiの激しいダンスとかをしました。顔ヨガでは目を大きくあけてキョロキョロしたり、舌をべーって伸ばしたりみんなで変顔をしました。顔の筋肉をたくさん使うから小顔になるし、僕みたいに可愛い笑顔が自然に出来るようになるから、皆さん是非おすすめします。来年度も参加して顔も身体もたくさん動かしたいです。



ふうせんバレーサークルから

ふうせんバレーサークル実行委員長 森澤 千代子

2023年度のふうせんバレーは、毎月第2日曜日9時30分から鶴尾小学校体育館で行いました。今年度は10回すべて中止すること無く実施できました。これもコロナ禍が5類に移行したので日常生活が戻って来た影響でしょう。ふうせんバレーは子供から年配者まで、障がい者も健常者一緒に楽しめるスポーツです。又、今年度は保健医療大学の学生さんがボランティアとして参加してくれました。多いに賑やかで明るく楽しい例会が出来ました。本当にありがとうございました。これからも皆で楽しめるふうせんバレーにして行きたいと思っておりますので是非参加してください。

鶴尾小学校学校 清掃しました

今年も3月3日(日)に卒業式前の学校清掃に参加して来ました。

早朝から清掃活動は寒かった...

手分けをしてスタート、体育館内は鶴尾地区体育協会と学校開放委員会皆さんが、グラウンドはソフトバレーボールとサッカー皆さんで、私達の担当場所は花壇や体育館周りの清掃です。皆で協力してきれいにしましたよ!



編集後記

月日の経つのは早いもので、さらスポーツクラブも今年4月で設立16年を迎えます。また、さら新聞もこの号で第40号になります。これもクラブ会員やボランティアスタッフ皆様のご協力のお陰だと思います。この新聞が皆様の手元に届く頃には桜の花も咲き、春らしい陽気になっているかと思います。これからも多くの人達に喜んで読んでもらえるよう充実した新聞紙面を作って行きたいと思っております。よろしくお願いたします。

中田

さらスポーツクラブが目指しているもの

全ての人(子どもから高齢者に至るまで、障がいの有無に関わらず)が能力に関わらず生涯に渡り、気軽にスポーツ文化活動に携われる環境の場を提供すること、また世代や障がいの枠を越えた交流を通じて相互理解を深めることにより、つながりを持ちお互いの可能性を広げることを目的としています。

ご意見・ご感想： ☎087-813-5016 E-mail sara.takamatu@nifty.com

発行責任者：高岡憲美・光吉直哉・中田賢二

